

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| | | | | |
|---------------|---------------|----------------------|---------|------|
| 受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
| 26-6 | 中学校 | 音楽科 | 音楽 (一般) | 第1学年 |
| 発行者の 番号・略称 | 教科書の 記号・番号 | 教 科 書 名 | | |
| 17 教出 | 音楽 725 | 中学音楽 音楽のおくりもの | | |

1. 編修の趣意及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標 (教育基本法第二条の第1～第5号)」と、学習指導要領に示された目標を、具体的な活動を通して達成することを目指しました。

夏の思い出 日本の歌 ひまわり

この曲は、日本の自然や四季の美しさを表現する歌曲を取り上げ、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。

我が国の自然や四季の美しさを表現する歌曲を取り上げ、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。

本教科書の三つの柱

| | |
|--|--|
| 音楽の要素を 捉えながら 音楽へのぼろう — 4 夢の翼 — 8 アニー・ローリー — 10 エーデルワイス — 14 | 「春」第1楽章 — 32 魔王 — 36 |
| さまざまな音楽文化 — 日本とアジア — 夏の思い出 — 16 赤とんぼ — 20 ソーラン節 — 24 | 日本の民謡と芸能 — 40 箏曲「六段の調」 — 42 日本とアジアをつなぐ音 — 46 |
| 歌い合わせ 聞き深める喜び 海が明けるよ — 26 希望という名の花を — 28 四月のいのちの歌 — 30 | ブルタバ(モルダウ) — 48 |

四月のいのちの歌

表現したいイメージを伝え合うなどして協同する喜びを体験し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。

表現したいイメージを伝え合うなどして協同する喜びを体験し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。

「和声と創意の試み」第1集「四季」から
春 第1楽章 ヴィヴァルディ 作曲

ソネットに描かれている情景と音楽との関わりについて、聞き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。

ソネットと音楽の関わりで、いちばんおもしろいと思ったところを、みんなに紹介する文章を書いてみよう。

音楽に対する自己の価値意識をもち、音や言葉で表現することから、個人の価値を尊重して創造性を培う。

我が国の音楽文化に一層親しみ、他国の音楽文化の多様性や固有性を理解することから、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う。

日本とアジアをつなぐ音

日本と朝鮮半島に伝わる楽器を聴き比べよう

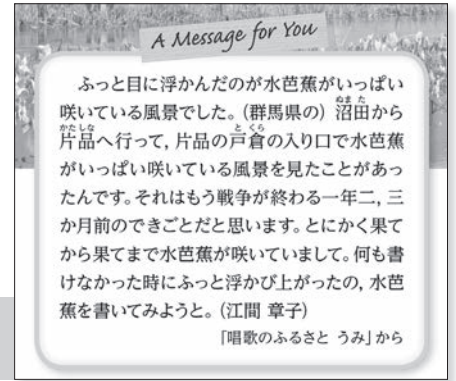
わが国の箏(こと)は、奈良時代に雅楽に用いる楽器として中国大陸から伝わり、6世紀の朝鮮半島で誕生した楽器で、箏と同じ発音原理と構造をカヤクムとともに単独で演奏するだけでなく、歌や他の楽器とともに演奏され、多ことができます。それぞれの楽器の音色や演奏の仕方、音楽の特徴などを聞き取り、

☆表現活動

歌唱：

歌唱及び合唱の学習が段階的に深まるように教材を精選し、諸外国の様々な音楽についても、具体的な学習活動とともに配置しました。歌唱共通教材からは「夏の思い出」「赤とんぼ」を掲載、作品に対する作者のメッセージなどを掲載し、歌詞や楽曲の背景などにも触れられるようにしました。我が国の伝統的な歌唱については民謡を扱い、声の出し方やのびし方などの特徴を感じ取ることができるようになりました。

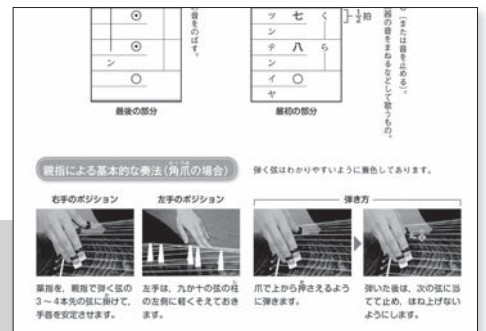
作者が語った作品への思い
例；p.17「夏の思い出」



器楽：

和楽器として「箏」「太鼓」を扱い、基礎的な奏法を身に付けられるように配慮しました。また、ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーの学習は、歌唱教材と関連付けながら、学校の実態に応じて取り扱えるようにしました。

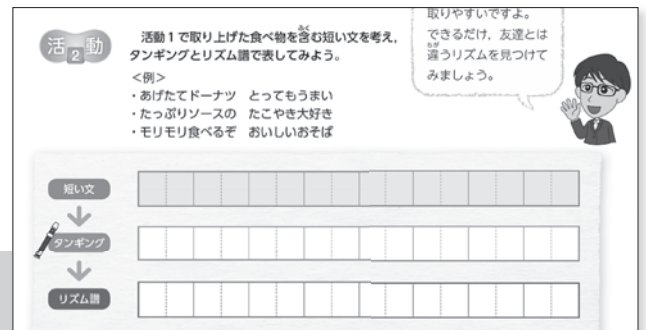
〈Let's Try!〉
例；p.58 箏を弾いてみよう
「さくらさくら」



創作：

無理なく適切に学習活動が展開できることを重視し、歌唱・器楽・鑑賞の音楽活動と関連付けて取り扱うことができるように設定しました。「リズム曲」や「太鼓のための音楽」などの創作を通して創造性を培えるように配慮しました。

〈音のスケッチ〉
例；p.52 楽しいリズム曲をつくろう



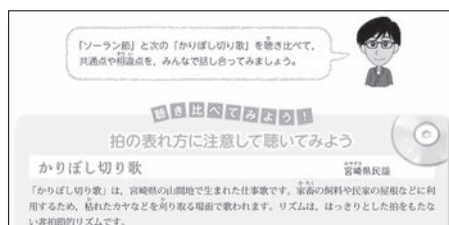
☆鑑賞活動

鑑賞：

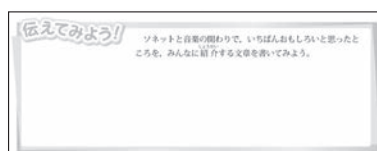
我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽について、音楽の特徴が捉えやすくねらいが具体的、かつ多様な選択が可能になるように配慮しました。

p.24「ソーラン節（歌唱）」と「かりぼし切り歌（鑑賞）」、p.36「魔王（シューベルト作曲）」と「魔王（ライヒャルト作曲）」などのように、聴き取るポイントを提示して聴き比べる活動を行う他、生徒が個人の価値を尊重し、聴き取ったことや感じ取ったことを記録しながら、音楽の価値や意味などを考える「伝えてみよう！」を設定しました。

作曲家と歴史（音楽史）の背景が簡潔にわかる「音楽史年表」は、鑑賞ページの右側小口に設置しました。



◀聴き比べてみよう！
例；p.25
「かりぼし切り歌」



〈音楽史年表〉
例；p.37「魔王」

◀伝えてみよう！
例；p.33「春」から 第1楽章



2. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標**を達成するために、構成・内容と教材の選択について、以下のような方針で編修しました。




| | | |
|--|--------------|--|
| <p>☆生徒が音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように、幅広い知識と教養を身に付けられる構成・内容としました。</p> <p>☆生徒一人一人が個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。</p> | 構成・内容 | <p>☆表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすことができるように、系統的な構成・内容としました。</p> <p>☆様々な音楽活動を通して、音や音楽への興味・関心を養えるように配慮しました。</p> |
| <p>☆歌い合わせ聴き深める活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるものを精選しました。</p> <p>☆我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、日本と他国の音楽文化の共通点や相違点を探ることのできる教材と資料について考慮しました。</p> | 教材の選択 | <p>☆教材は時代や曲種等に偏りなく、幅広いジャンルの中から、親しみやすかつ学習指導要領の各指導事項に即したものを精選しました。</p> <p>☆我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの、その気持ちを促す資料について考慮しました。</p> |

3. 対照表

図書の内容・構成と**教育基本法第二条の第1号から第5号**との対応を示します。

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---------------|--|-------|
| With My Heart | ○著名な音楽家からのメッセージなどを掲載し、生徒の豊かな情操の育成に配慮しました。〈第1号〉 | ○巻頭口絵 |

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|--|--|---|
| <p>音楽の要素を 捉えながら</p>  <p>⋮</p> <p>さまざまな音楽文化 — 日本とアジア —</p>  <p>⋮</p> <p>歌い合わせ 聴き深める喜び</p>  | <p>○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように配慮しました。〈第1号〉</p> <p>○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。〈第2号〉</p> <p>○歌い合わせる活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる点を重視しました。〈第3号〉</p> <p>○郷土の祭りや芸能などが、協力して行われる行事であることを重視しました。〈第3号〉</p> <p>○写真や資料等を配し、我が国の自然や四季の美しさを大切にする気持ちを育むように配慮しました。〈第4号〉</p> <p>○我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。〈第5号〉</p> <p>○郷土の伝統的な歌唱という点を重視しました。〈第5号〉</p> <p>○和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるように配慮しました。〈第5号〉</p> <p>○日本と他国の音楽文化の共通点や相違点を探る教材の充実を図りました。〈第5号〉</p> | <p>Op.4～51</p> <p>Op.4～51</p> <p>Op.4～31</p> <p>Op.40～41</p> <p>Op.16～21</p> <p>Op.16～25, p.40～41</p> <p>Op.24～25</p> <p>Op.42～45</p> <p>Op.46～47</p> |
| <p>音のスケッチ</p> | <p>○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように配慮しました。〈第1号〉</p> <p>○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。〈第2号〉</p> <p>○日本語の特徴などを感じ取れるように配慮しました。〈第5号〉</p> | <p>Op.52～53, p.56～57, p.60～61</p> <p>Op.52～53, p.56～57, p.60～61</p> <p>Op.52～53, p.56～57</p> |
| <p>Let's Sing !</p> | <p>○身体的に無理なく健やかに歌唱できるように配慮しました。〈第1号〉</p> | <p>Op.6～7, p.12～13</p> |
| <p>Let's Try !</p> | <p>○日本語の特徴などを感じ取れるように配慮しました。〈第5号〉</p> <p>○和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるように配慮しました。〈第5号〉</p> | <p>Op.54～55</p> <p>Op.58～59</p> |
| <p>どんな特徴があるかな？</p> | <p>○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように配慮しました。〈第1号〉</p> <p>○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。〈第2号〉</p> | <p>Op.62～63</p> <p>Op.62～63</p> |
| <p>学習資料</p> | <p>○幅広い知識を身に付けられるように配慮しました。〈第1号〉</p> | <p>Op.64～65, p.84～84-②</p> |

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|----------|---|---|
| 歌のアルバム | <p>○生徒が音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように配慮しました。〈第1号〉</p> <p>○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。〈第2号〉</p> <p>○歌い合わせる活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる点を重視しました。〈第3号〉</p> <p>○自他の敬愛と協力が感じ取れる歌詞内容を重視しました。〈第3号〉</p> <p>○美しい写真や資料等を配し、我が国の自然や四季の美しさを大切にする気持ちを育むように配慮しました。〈第4号〉</p> <p>○我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。〈第5号〉</p> | <p>Op.66～83</p> <p>Op.66～83</p> <p>Op.66～83</p> <p>Op.74～75</p> <p>Op.80～81</p> <p>Op.80～81</p> |

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

☆特色1 見やすく、わかりやすい紙面

判型はAB変型判を採用し、楽譜や写真、その他の必要な情報を見やすく掲載しています。

☆特色2 小学校音楽との関連

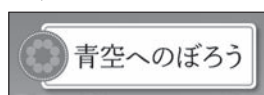
小学校からの学習の積み重ねと系統性を考慮し、題材構成や教材配列を工夫しています。

☆特色3 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

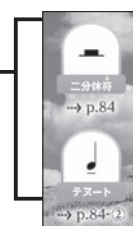
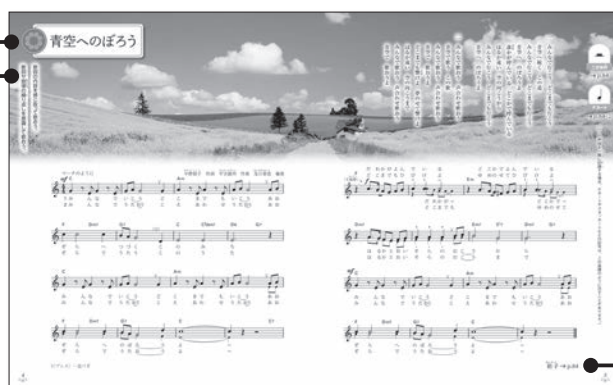
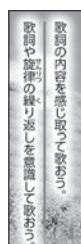
カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応…色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン（CUD）は第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮…教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。

教材名



活動のポイント



〔共通事項〕
用語や記号

関連ページ



編 修 趣 意 書

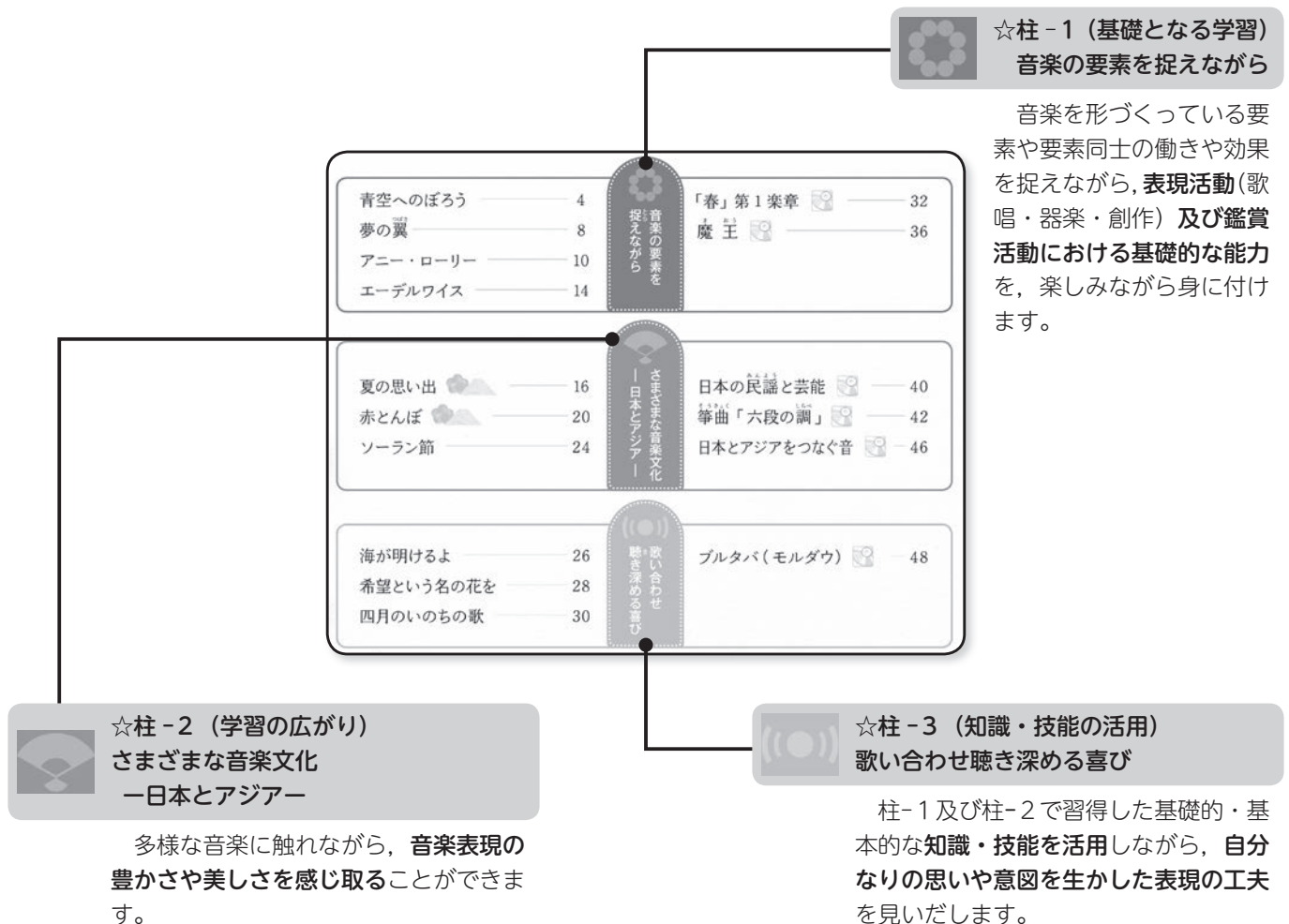
(学習指導要領との対照表)

| 受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|---------------|---------------|----------------------|--------|------|
| 26-6 | 中学校 | 音楽科 | 音楽（一般） | 第1学年 |
| 発行者の 番号・略称 | 教科書の 記号・番号 | 教 科 書 名 | | |
| 17 教出 | 音楽 725 | 中学音楽 音楽のおくりもの | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

○基本的な構成と趣意

本教科書では、学習指導要領の目標及び内容を、具体的な活動を通して達成することを目指しました。【共通事項】を窓口^①に音楽を捉えながら、表現及び鑑賞の幅広い音楽活動を展開することをねらいとし、基礎・広がり・活用の「三つの柱」で構成しました。



☆ 学習のポイント

柱 - 1, 2, 3では、**学習のねらい**に即した**学習のポイント**を各教材二つずつ示しました。これらのポイントは、生徒が主体的な活動を展開していく上で「めあて」となったり、「評価の指針」となったりするように配慮しました。



↑ p.4「青空へのぼろう」

p.46「日本とアジアをつなぐ音」 →



☆ 音のスケッチ

創作のページ

| | |
|--------------------|----|
| 楽しいリズム曲をつくろう | 52 |
| 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう | 56 |
| 太鼓のための音楽をつくろう | 60 |

生徒が主体的に取り組みながら**旋律をつくったり**、**構成を考えながら音楽をつくったり**する創作のコーナーです。リズムム曲や太鼓のための音楽などを創作します。

活動3

「い」「ほ」のリズムや「地打ち」のリズムを使って、地打ちを含む三人の奏者による、太鼓のための音楽を構成してみよう。その際、曲のタイトルをつけて、そこからイメージを膨らませてみよう。

<例> ヒトマスを2小節で示しています。

| | | | | |
|-----|---|---|----|---|
| 奏者1 | い | は | い | ほ |
| 奏者2 | | い | お寅 | ほ |
| 地打ち | → | | | |

曲のタイトル【 】

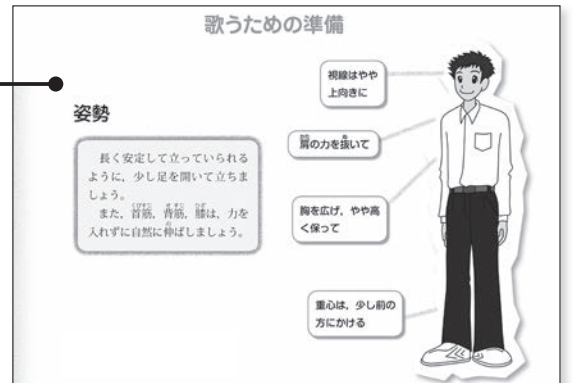
| | | | | |
|-----|---|--|--|--|
| 奏者1 | | | | |
| 奏者2 | | | | |
| 地打ち | → | | | |

☆ Let's Sing!

Let's Sing!

| | |
|------------------|----|
| 歌うための準備 | 6 |
| 変声と混声合唱「こげよマイケル」 | 12 |

歌うためのワンポイント・アドバイスです。歌うときの姿勢や変声についてわかりやすく説明をしています。



☆ Let's Try!

Let's Try!

| | |
|-------------------------|----|
| 指揮をしてみよう | 22 |
| 言葉のリズムで楽しもう「くいしんぼうのラップ」 | 54 |
| 箏(こと)を弾いてみよう「さくらさくら」 | 58 |

様々な音楽を楽しみながら、**指揮や声、身近な楽器の基礎的な表現の技能を養う**コーナーです。

「夏の思い出」と「赤とんぼ」を歌いながら指揮をして、強弱や歌い始めるタイミングなどをどのように表すか、工夫したことをメモしておきましょう。

夏の思い出 → p.18

江崎幸子 作詞 中田喜直 作曲

歌い始めるタイミングがわかるようにするには、指揮をどう工夫したらよいかしら?

<例> / 拍前から振り始め、ビマノに合図を出す。

1 なつがくればおもいだす はるかたおせ とおいでる
2 なつがくればおもいだす はるかたおせ のたびよ

赤とんぼ → p.21

三木露風 作詞 山田耕筰 作曲

<例> 小さくやわらかに振り始め、2小節後に強弱をつける。

☆ どんな特徴があるかな？

どんな特徴があるかな？

きらきら星変奏曲 62

〔共通事項〕(1)-アの、音楽を形づくっている要素や要素同士の働きに注目し、生徒それぞれが気づいたことや感じ取ったことを互いに話し合うコーナー。「きらきら星変奏曲」のそれぞれの変奏を聴き、聴き取ったことや感じ取ったことを記録しながら、音楽への自分なりの価値や意味などを考え伝え合う「伝えてみよう!」を設定しています。

たくさん星がきらきらと輝いている様子を思い浮かべよう。
主眼と比べると、星の数が多くなって、輝きが増したように感じるなあ。

変奏1

変奏8

ああ、変奏1に比べてやかさがなくなって、雰囲気が変わったわ。

みなさんは、変奏1と変奏8を聴いて、どんな違いを感じましたか？ その違いは、音楽を形づくっている要素の何によるものなのか、もう一度注意して聴いてみよう。また、次の変奏12を聴いてみて、音楽を形づくっている要素や雰囲気の変化などについて、聴き取ったり感じ取ったりしたことを伝え合ってみよう。

伝えてみよう!

変奏12

☆ 発展

発展「音」ってなあに？ 64

音が発生してから人が知覚するまでの物理現象を身近な楽器でわかりやすく説明し、マイクやスピーカーのしくみを解き明かします。また、花火と雷を例にあげ、光と音を知覚する際の違いについても説明しています。

音という現象はどういうものなのか。一言で言ってしまうと「振動」です。ものが振動して、その振動が空気を通して、耳に伝わる現象が「音」なのです。音が出ているもの(音源)は全て振動しています。例えばシンバルをたたくと、細かく振動しているのが見えます。このように、音源となるものは振動しているのです。机や壁などの硬い物をたたいても音が出ます。これらの振動は、とても細かく目には見えませんが、振動しています。人間の声も、喉の奥にある声帯が振動して出ているのです。シンバルをたたくと「ジャーン」と長い音が聞こえますが、音が鳴っている途中で振動を止めると音も止まります。また、手で押さえたままたたくと「チツ」という短い音になります。このように振動の仕方が違うと音の鳴り方も変わります。

☆ 学習資料

〔共通事項〕(1)-イの用語や記号については、当該ページや当該ページの小口に掲載しました。またp.84の「楽典」には、1年のどのページで扱っているかをマーク及びページ番号で示しました。

二分休符

→ p.84

← p.5 小口の部分

p.84 [楽典] →

| | |
|--------|---|
| 全休符 | 9 |
| 付点二分休符 | |
| 二分休符 | 5 |

☆ 歌のアルバム

生徒や学校の状況に応じて随時、選択的に取り扱うことのできる歌唱教材を配しました。また、表現活動のねらいに即したポイントを「工夫してみよう」として示しました。

p.78 「翼をください」 →

翼をください

Moderato

山上路夫 作詞 村井邦彦 作曲 横山

1 いま わたしの へが いごとが
2 いま とみか (V) めいよ ならば

なうならば つばさがほしい
ないけいど つばさがほしい

このせなかに とりのように しろい
こどものとき -ゆめ- みたこと いまもおなじ

しろう つばさ
いまおなじ

つけてください いま
ゆめにいて

このおぞらに一 つばさをひろげーとんでゆ

工夫してみよう
音が響かなくなると、楽がなくなるから聴いてほしい

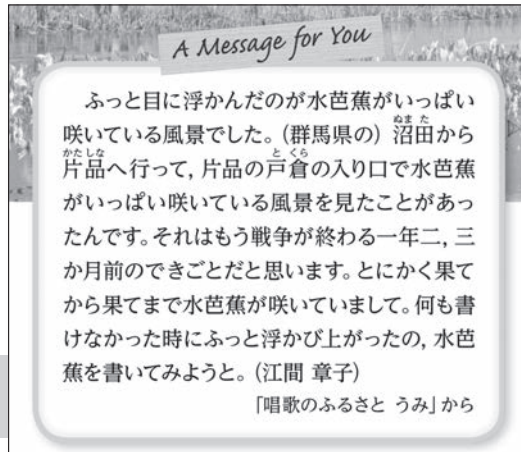
○その他の特色

☆ 授業に役立つ資料の充実

AB変型判を採用し、楽譜や写真、その他の必要な情報を見やすくすると同時に、授業に役立つ資料などを充実させました。

歌唱共通教材…日本の四季や自然の美しさを感じ取れる写真と、具体的な資料として参照できる写真を掲載しました。また、作者が語った作品への思いも扱っています。

〈A Message for You〉 →
例；p.17 「夏の思い出」



我が国や郷土の伝統音楽 (p.40, p.42) / オークストラの楽器 (巻末折込ページ) では、豊富な写真資料や図版で解説し、生徒が興味をもって学習することができるようにしました。

← 〈写真資料〉
例；巻末絵 「オーケストラの楽器」

音楽史年表…作曲者と歴史 (音楽史) の背景が簡潔にわかる「音楽史年表」を、鑑賞ページの右側小口に設置しました。

〈音楽史年表〉
例；p.33 「春」 第1楽章



☆ 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン (CUD) は第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮

教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。

2. 対照表 (◎…主に取り扱う指導事項, ○…取扱いが可能な指導事項)

| 教材 | 該当箇所 | A 表現 | | | | | | | | | | B 鑑賞 | | | 共通事項 | | | | |
|--------------------|-----------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------------|------------------------|------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|---|--|---|-----|--|---------|---|--|-------------------|-------|
| | | (1)歌唱 | | | (2)器楽 | | | (3)創作 | | (4)教材 | | (1)鑑賞 | | | (2)教材 | (1) | | | |
| | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ア | イ | | ア | イ | ウ | ア | イ | | |
| | | | | | | | | | | | (ア) | (イ) | | | | | | | |
| | | 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。 | 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。 | 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせ歌うこと。 | 曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏すること。 | 楽器の特徴を伝え、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。 | 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせ演奏すること。 | 言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。 | 表現したいイメージをもち、音楽材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。 | 我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切で、生徒にとって平易で親しみのもてるものであること。 | 我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの | 民謡、長唄などの我が国の伝統的な歌唱のうち、地域や学校、生徒の実態を考慮して、伝統的な声の特徴を感じ取れるもの | こと。 | 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。 | 鑑賞すること。 | 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞すること。 | 鑑賞教材は、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切なものを取り扱う。 | 音楽を形づくっている要素や要素同士 | 用語や記号 |
| 青空へのぼろう | p.4～5 | ◎ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 夢の翼 | p.8～9 | ◎ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| アニー・ローリー | p.10～11 | ○ | ○ | ◎ | | ◎ | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| エーデルワイス | p.14～15 | | ◎ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 夏の思い出 | p.16～19 | ◎ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ◎ | ○ |
| 赤とんぼ | p.20～21 | ◎ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ◎ | ○ |
| 指揮をしてみよう | p.22～23 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| ソーラン節 | p.24～25 | | ◎ | ○ | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | ◎ | ○ |
| 海が明けるよ | p.26～27 | ◎ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 希望という名の花を | p.28～29 | ○ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 四月のいのちの歌 | p.30～31 | ○ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 春 第1楽章 | p.32～35 | | | | | | | | | | | | ◎ | ○ | | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 魔王 | p.36～39 | | | | | | | | | | | | ◎ | ○ | | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 日本の民謡と芸能 | p.40～40-② | | | | | | | | | | | | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 祭りの音楽・芸能 | p.41-①～41 | | | | | | | | | | | | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 箏曲「六段の調」 | p.42～45 | | | | | | | | | | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 日本とアジアをつなぐ音 | p.46～47 | | | | | | | | | | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| ブルタバ (モルダウ) | p.48～51 | | | | | | | | | | | | ○ | ◎ | | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 楽しいリズム曲をつくろう | p.52～53 | | ○ | | | ○ | ◎ | | | | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 言葉のリズムで楽しもう | p.54～55 | ○ | ◎ | ◎ | | | | | | | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう | p.56～57 | | ◎ | | | ○ | ◎ | | | | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 箏を弾いてみよう | p.58～59 | | | | | ○ | ◎ | | | ○ | ○ | | | | | | | ◎ | ○ |
| 太鼓のための音楽をつくろう | p.60～61 | | | | | ○ | ◎ | | | ○ | ◎ | | | | | | | ◎ | ○ |
| 明日への勇気 | p.66～67 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 君と歩こう | p.68～69 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| COSMOS | p.70～73 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 心をこめて | p.74～75 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 明日を信じて | p.76～77 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 翼をください | p.78 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| さようなら | p.79 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | | | ◎ | ○ |
| 故郷 (同声二部合唱) | p.80～81 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ◎ | ○ |
| 君が代 | p.82～83 | ◎ | ◎ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ◎ | ○ |

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

| | | | | |
|----------------|---------------|----------------------|---------|------|
| 受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
| 26-6 | 中学校 | 音楽科 | 音楽 (一般) | 第1学年 |
| 発行者の 番号・略称 | 教科書の 記号・番号 | 教 科 書 名 | | |
| 17 ―― 教出 | 音楽 725 | 中学音楽 音楽のおくりもの | | |

| ページ | 記 述 | 類型 | 関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項 |
|-----|-----------|----|---|
| 64 | 「音」ってなあに？ | 2 | ○内容の取扱い 2-(7)-イ 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導 (上記の項目では自然音や環境音について記 されているが、本コーナーでは音の物理的な 性質についてその原理を解説した。) |

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 1)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容